丸山湿原群保全の会会報

（第 127 号）

発行日：平成 30 年２月 16 日　編集／発行：丸山湿原群保全の会
〒669-1211　宝塚市大原野字炭屋 1-1　西谷地区まちづくり協議会事務局内
TEL/Fax0797-91-1788
090 - 1895 - 8061（今住）
E-mail：maruyamashitugengun@gmail.com

今年の寒波は驚きです。連日－７℃以下を記録。少し緩んだかと思うとまた襲来。雪はそんなに降りませんが、一度積もったら、雨が降っても日陰の部分は解けません。**氷も然り。ため池の氷は５㎝厚にも成長し人が乗っても割れない。ふざけていると命をなくしますが。**

小学生の時（S45 頃？）、何度か池が全面結氷し、スケートのまねごとをして遊んだ思い出があります。その時は気づいていませんが、命がけの遊びだったんでしょうね。「ミシッ！ミシッ！」と音がしていました。**今はこんな遊び絶対にご法度です。**

しかし、「立春」も過ぎ「雨水」を迎えようとするこの頃。日の光も風さえなければポカポカしてきました。三寒四温でまもなく暖かくなるのでしょう。桜の開花予報は例年より早いといいます。今度は一気に夏というようなことがないように願います。ラニーニャ現象が…。黒潮が…。偏西風が…。大丈夫かいな地球君。**人と尺度が違うのかもしれません。人類誕生 700 万年。地球誕生 46 億年…人類はほんの一瞬！**

（今住　２月 15 日作成）

プレゼン報告　★たからづかエコ講座最終回・各団体活動紹介　１月 13 日（土）

調査実習（サギソウ開花数調査…ありがたかった）で協力した、「たからづかエコ講座」が最終回を迎えました。最終回は毎年市内の自然保護団体の紹介をしているようです。本会も副代表が参加し熱弁を振るってくれました。

副代表によるプレゼン

３月の両生類セミナーの宣伝もしていただき、早速メールにて参加の問い合わせがありました。チラシが間に合わなかったことが悔やまれます。その方からも、HP やブログで場所など紹介してくださいとご意見いただきました。

でも、出来てなかったんだモーン！ごめんなさい。今は看板みたいに HP のトップを飾っています。県との共催になったので、北摂里山博物館の HP にも大きくのせていただいています。

入会していただけたらいいのですが。皆さん勧誘よろしくお願いいたします。学生、子どもは会費無料と勝手に決めています。（本当は総会の承認が必要ですが…）

活動報告　★1 月 28 日（日）定期活動　「北摂里山愛す会」との協働　23 名で活動　雪！

昨年に引き続き、北摂里山大学 OB 会で作る**「北摂里山愛す会」さん（やっとちゃんとした名前を憶えました。今までごめんなさい。）**と協働で、第２湿原山すその再萌芽樹木の除伐作業を行いました。前日までの雪で道や活動場所の状況がはっきりせず、皆さんヤキモキされていたことでしょう。**前日の下見の結果、何とかできると決行を決意！（たいそうですが…。）メール・ブログにて情報を流しました。ネット環境の無い方と情報の共有ができず、ご迷惑をおかけしたかもしれません。ご容赦を。**

「北摂里山愛す会」の皆さんと

北摂里山大学 OB 会は、**卒業後（1 年 11 回の講座あり）それぞれ、自然保護の団体を作ったり所属したりして学んだ知識・技能を発揮されています。**本会にも３名の卒業生が所属。かけ持ちで様々な会に入っておられる方も。相当忙しいようです。

各自、主体的に作業中

作業は皆さん慣れたもの。何も言わないでも範囲だけ指定するとそれぞれコミュニケーションを取りながら、木をさばいていきます。しかも丁寧！私にはちょっとまねできない丁寧さです。感心します。

丸山湿原群にはトイレがないのをご存知で、簡易トイレを持参。最初「なに？」と興味津々。防災グッズだそうで、価格も数千円であるそうです。更衣室にも使えそうです。恐るべし。出したものを持って帰るのはウ～ンですが、責任でしょう。うんと欲しくなりました。

テントのような簡易トイレ

作業後の第 2 湿原上部

昼食休憩も取りましたが、**休んでいる間に体温が奪われ、作業をしているほうがましな状態です。**雪も激しくなってきました。気温はおそらく 2℃前後。時間は早く切り上げましたが、作業自体は当初の計画目標を達成。3:30 には解散となりました。

途中仙人が行方不明になりましたが、先に下山。しばらくすると、ボーロンボーロンと呪文を唱えられながら、赤松の枯れ丸太を抱えた仙人と呪縛から離れられない相方が下りてこられました。仙人恐るべし！あれ？ボーロンは山伏か？まー似たようなものでしょう。

皆さん本当にご苦労様でした。また、来年といわずお声掛けいたします。ボーロンボーロン！（狂言）

2 月 10 日の第 2 湿原　「雨に煙る」

活動報告　★2 月 10 日（土）定期活動　３名で活動　雨（湿原内氷だらけ）

定期基礎調査、巡回、ごみ回収、観察、外来種除去

目的	市内	市外
丸山	19	21
ハイキング	4	0
その他	0	1

場所	時間	気温【水温】	電気伝導度（EC）	PH
入口	10：02	3.0℃		
視点場	10：33	3.3℃		
第３湿原	10：13	【3.3℃】	31.9μS/cm	6.4
第１湿原	10：39	【1.3℃】	32.5μS/cm	6.9
第２湿原	10：57	【1.8℃】	38.6μS/cm	6.9

来場者数　計 45 人
（竹筒ポスト人数）

【湿原・活動の様子】

湿原に向かう道横の川も凍る

雨でも氷は解けていません

実はこの日は臨時の作業に充てる予定でした。第１湿原内のヌマガヤ（カヤ類）が茫々の状態で、手が入っていません。３月４日の両生類卵塊数調査のルートセンサスの基準ロープも張るどころか、基準杭もカヤ類の下でどこにあるのかも分かりません。ところが朝からかなりしっかりとした雨。作業は中止。連絡を回しました。しかし、基礎調査はなさねばなりません。（翌日でもいいんですが…）１人で雨の中寂しく調査かと思っていたのですが、なんと駐車場に車！ゴールドとワインレッドの。２名のお仲間が待っていてくれました。軽トラックで合流、計３名で活動です。雨は激しくなってきます。調査をテキパキと終えようと思いますが、気温は約 3℃。湿原内は氷でバシバシ。前回と同じに計測地点も氷が張っています。傘をさしながらの計測、記録は大変です。紙はふにゃふにゃ、インクはのらない。後で読めるんかいな？というありさまでした。

氷はこの通り

アカガエルの卵塊　水中写真

せっかく来たのだからと、カスミサンショウウオが産卵してるかもと探します。そこら中氷だらけでやっぱり今年はまだかと思ったとき、ニホンアカガエルの卵塊を１つ発見！まだ発生がほとんど進んでおらず、おそらく前日（前夜）産み付けられたもののようです。時期的にいつ産卵があってもよいとき、少しでも条件が整うと産卵するのでしょう。今回はそれが雨だったのかもしれません。（あくまで個人的考察です）でも見つかったのはその一つのみ。カスミサンショウウオの卵塊は未だ見ていません。毎年「西谷の森公園」から一番早く情報が入るのですが、それもまだ。寒さに対してリスクマネジメントをしているのでしょうか。どちらかといえば、長い期間だらだらと産卵することでリスクヘッジしていると思うのですが。それとも、今年はあの悪夢の 2015 年（カスミサンショウウオ卵塊確認できず）の再来？そんなこともあり得ますね。環境的には大きく変わっていないのですが…。どうでしょう。一気に産卵ラッシュが起こるのか？（実は 13 日にアカガエルは産卵ラッシュが始まりました。カスミは？？？）

水の上からだと光って

第２湿原でも探しましたが結果は同じ。つい油断して、底なし沼に挑戦してしまった会員も。御年７？歳。足からの冷えは万病のもと。心配しましたが、午後の「森公園」での「バレンタインコンサート」にもお見えだったので大丈夫でしょう。でもお互い気を付けましょう。湿原内に立ち入ることはあまりありませんが。

お気の毒にドロドロ、びちゃびちゃ

雨がひどくなってきたのでとっとと帰りました。この日予定していた刈り取り作業は、火曜日(13 日)と木曜日(15 日)に実施しました。ルートセンサスのロープ張りは次回活動日（25 日）に実施予定。刈り取りが残っていればその作業もありです。時期的にあまりよくないですが…

参加報告　★2 月 11 日（日）三田　人と自然の博物館
「共生のひろば」ポスター発表　２名で参加（今住・水田）

今年で 13 回目を迎える「共生のひろば」。研究者から小学生まで同じ舞台で交流します。以前は「保全の会」も発表していたようですが、久しぶりの発表となりました。**「網引湿原」「武庫川流域圏ネットワーク」は口頭発表をされていました。**

とっても熱心だった農業高校生

驚いたのは小学生や高校生の口頭発表。常連さんのカニ研究「カニカニブラザース」や、珪藻土を使ったアンモニア除去技術という、ベンチャービジネスにつながるような「加古川東高校」。ポスター発表では鳥取からイモリの研究発表に来ている小学生など、ポスター発表 75。紙芝居発表２。口頭発表８という盛況ぶりでした。**皆さん、とにかく楽しく参加していることが、未来につながると感じました。**

最後にあった、岩槻邦男氏（名誉館長）の辛口コメントが素敵で、「納まりすぎて面白みがない。学者の研究発表ではないのだから、間違いを恐れず自分の考察を加えるもっと広がりが出る。」（うろ覚えですが…嘘を言ってるかも。嘘だったらごめんなさい。）が印象的でした。勝手な考察ばかりでも問題ですが…。根拠を持ってでしょうね。

来年もあると思います。個人でも参加は可。我こそはと思う方はぜひいろんな立場でご参加ください。

宝塚市から支給品

２回目の支給品が届きました。といっても、こちらからこれ買ってくださいとお願いしています。県と宝塚市の天然記念物なので、ありがたいことに上限を決め支給していただいています。今回は両生類卵塊数調査のためのロープ 200m×２と剪定ばさみ。今回のロープは紫外線に強く、劣化しにくいものです。剪定ばさみは 12 個。しっかり活用したいと思います。

活用を！はさみとロープ

丸山セミナー　★丸山湿原エコミュージアム推進協議会主催
「丸山湿原セミナー」「両生類卵塊数調査」
３月４日（日）
①１０：３０～１２：００「西谷の森公園」多目的室
テーマ　「オオサンショウウオとカスミサンショウウオ」
②１３：００頃～16：00 頃　丸山湿原で両生類の卵塊数を調査します。
11 年間連続で行なっているセミナーです。
講師　　ハンザキ研究所　田口勇輝氏（11 年連続講師）
午前のみ、午後のみの参加でも結構です。ふるってご参加ください。ただし、午後の部は人数多数の場合、湿原内への立ち入りを制限することがあります。ご了承ください。
次回活動日２月 25 日（日）３月４日（日）セミナー
10 日（土）25 日（日）